

第6次青梅市総合長期計画

みどりと清流、歴史と文化、ふれあいと活力のまち
— ゆめ・うめ・おうめ —

- 豊かな自然環境の中で快適で文化的な暮らしができるまち
- 人と人の心のふれあいがあるまち
- 安全で安心して暮らせるまち

国が示す4つの基本目標

- 地方における安定した雇用を創出する
- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
- 地方への新しいひとの流れをつくる

青梅市人口ビジョン —国の「長期ビジョン」を勘案しつつ、平成72(2060)年までの青梅市の人口ビジョンを描く—

1. 人口の現状分析

2. 人口の将来展望

- (1) 青梅市の人口動向 (第1回懇談会にて提示)
- (2) 将来人口推計および地域の将来に与える影響

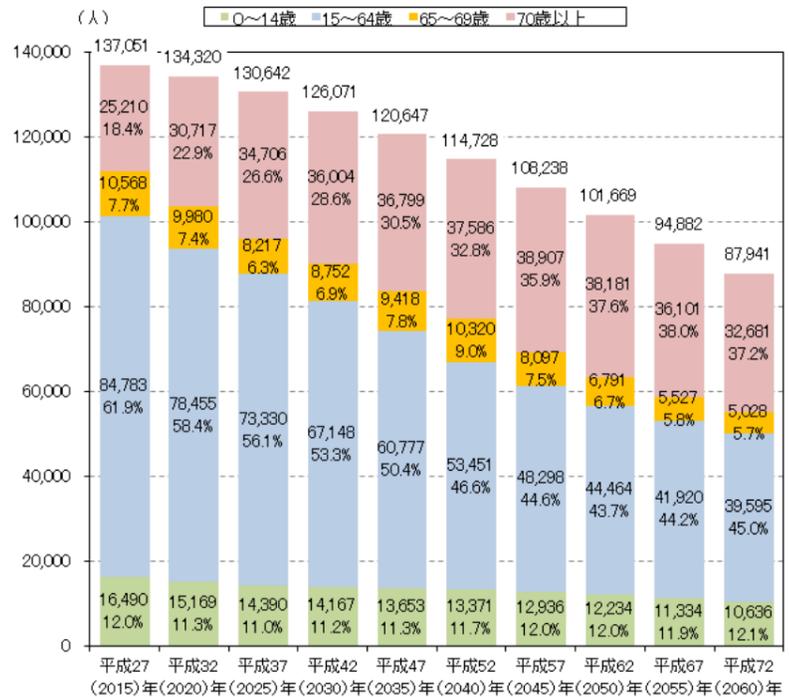
青梅市の将来人口は、推計実施機関で異なる条件設定を整理し、平成72(2060)年時点で比較したところ、67,000人~92,000人という推計結果となった。現状と比較して、4~7万人の減少が見込まれることとなる。

人口減少は、首都圏を含む日本全体が直面すると予測されているが、将来を展望するうえで特に重要となるのは、年齢構造である。

今後、高齢化の進行やこれまでの少子化の流れに伴い、生産年齢人口が減少する。同時に、人口全体が減少することから、出生率の増加や転出抑制・転入誘導に資する諸施策の推進により、2040年代頃から年齢構造の安定化を見込んでいる。

また、現在、老年人口に区分されている65歳~69歳については、健康寿命の延伸を背景として、働き手(生産年齢人口)の減少に対応した、生産性を十分に有する年齢層として捉えることができる。

＜将来人口推計 年齢4区分比率(資料2より)＞



- (1) 意識調査結果の分析 (資料3・資料4)

＜意識調査実施概要＞

調査名	調査対象
1 若年世代の進学・就職・結婚・出産・子育てに関する意識調査	青梅市内在住 16歳~39歳 2,000名
2 定住・移住に関する意識調査【転入者向け】	過去2年以内に青梅市に転入 18歳以上 1,000名
3 定住・移住に関する意識調査【転出者向け】	過去1年以内に青梅市から転出 18歳以上 1,000名
4 青梅市に対するイメージ調査	東京都内(青梅市以外)、神奈川県、埼玉県、千葉県在住 20歳以上 400名

